



国立情報学研究所長  
末松 安晴

国立情報学研究所は、平成12年創設以来、情報学に関する総合的研究を行うとともに、我が国の学術情報の円滑な流通の実現を目指し、国内の学協会、大学図書館等と連携協力しながら先端的な基盤の開発と整備を実施してまいりました。

学術雑誌の電子ジャーナル化の進展により、学術研究の形態は急速な変化を遂げている一方、我が国においては、残念ながら、海外に比べて学術雑誌の電子化、国際化等、新たな流通形態への対応が進展しているとはいえず、欧米諸外国の有力学術雑誌に比肩するような電子ジャーナルを生み出す体制が十分ではありません。このような状況の中、科学技術・学術審議会の「学術情報の流通基盤の充実について（審議のまとめ）」（平成14年3月12日）においても、国立情報学研究所には、学術情報の電子化、流通化を推進するセンター機能を果たし、日本から発信する学術情報の国際的な流通を促進することが求められています。

これを踏まえ、文部科学省からの支援によって、国立情報学研究所は本年度より新たに国際学術情報流通基盤整備事業（SPARC/JAPAN）を開始します。

本事業は、英文論文誌を国際化、電子化することによって国際的な電子ジャーナルとして一層の飛躍を目指そうとする意欲のある学協会と、国立情報学研究所がパートナーとなり、ともに協力して、我が国の学術情報流通の変革を実現しようとするものです。

我が国の英文論文誌としては、すでに国際的知名度があるものから、これから世界の市場に投入することを模索するものまで、現状はさまざまです。したがって、本事業では、パートナーである学協会と協調しながら、対象となる英文論文誌のそれぞれの状況にあわせて、国際化、電子化の実現方策や、電子ジャーナルビジネスモデルの確立方策等、専門家による最適なコンサルティング支援を行います。また、電子ジャーナルビジネスを速やかに成功に導くため、機関購読者としての大学図書館と連携して、選定誌である電子ジャーナルの認知度を向上させ、電子ジャーナルが安定的に発行されることを支援します。

本事業において実施するこれらの支援を通じ、我が国から発信される学術雑誌が国際的に高い評価を得、我が国の研究者に適切な情報入手と情報発信の場を提供し、我が国の学術研究への国際的評価の一層の向上に貢献できるものと確信いたします。

国立情報学研究所は、学協会はもちろんのこと、大学図書館、科学技術振興事業団、米国SPARC、SPARC Europeと連携協力しながら本事業を強力に推進し、学術コミュニケーションの変革を実現するため、全力で邁進する所存でございます。

本事業に対する各方面からのご指導とご鞭撻をお願いいたします。

## SPARC/JAPAN 参画英文論文誌の公募について

本事業に参画する英文論文誌を以下の要領で公募します。

**対象となる英文論文誌** 以下のうちのいくつかの要件を満たす英文論文誌を対象とします。

- 国内外研究者からの投稿を受け、編集委員会の国際化を実現又は企画し、既にその冊子体雑誌が一定程度国際誌として認められている。
- 電子ジャーナルによる海外に向けた発信を実施または企画している。
- 今後、冊子体の予約購読に基づくコスト回収モデルではなく、電子ジャーナルを基礎とする新たな価格モデルによる電子出版活動を企画している。
- 既に刊行あるいはこれから刊行しようとする電子ジャーナルについて、電子ジャーナル価格を設定し、収益化を図る意欲を持っている。

**応募方法** 所定の様式で本事業への参画提案書を送付してください。

**選考方法** 応募のあった学協会等から国際学術情報流通整備事業評議会の審議を経て選考します。

**公募締め切り** 平成15年9月3日（水）

**結果発表** 平成15年9月中下旬

詳しくは、SPARC/JAPANホームページをご覧ください。

<http://www.nii.ac.jp/sparc/>

※本事業は科学研究費等とは異なり補助金事業ではありません。本事業は3年計画のプロジェクト事業です。

お問い合わせ先

国立情報学研究所  
開発・事業部コンテンツ課 国際学術情報流通基盤整備事業推進室

E-Mail: sparc@nii.ac.jp

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 Tel: 03-4212-2315 Fax: 03-4212-2375



International Scholarly Communication Initiative

# SPARC/JAPAN

国際学術情報流通基盤整備事業

<http://www.nii.ac.jp/sparc/>



## 事業の開始にむけて

優れた研究をすれば、直ちに認められるとは限りません。何ごに問わず、活動成果を世に知らしめるには、信頼性のある適切な「場」の設定が不可欠です。音楽や演劇、絵画造形等の芸術活動については、国や地域の文化的威信をかけた劇場、美術館があり、一流の芸術家たちはそこで自己の存在を問いかけます。各種スポーツについても、選ばれた競技者たちは立派な公共競技場で覇を競い、そして、多くの観衆が第一級の競技披露を楽しみます。

科学知識は人類共通の財産であり、科学技術は国の国際競争力の源泉です。「科学技術創造立国」が21世紀の我が国の国是であるならば、研究投資に加えて、国内のみならず世界の科学者たちが競って参加する研究成果発信システムの構築が求められます。創造性豊かな我が国の科学者が、ともすれば国際的に過小評価されてきたのは、日本における信頼に足る発信事業の不在が大きな原因であることは明白です。我が国の優れた研究成果の多くは、例外はあるものの、欧米の有力な学術誌への発表を通して国際的に認知されてきました。「日本人なのに何故外国誌に発表するのか」長年にわたる問いかけですが、学術の進展に献身し、また自己実現を求める研究者の行動を一概に批難することはできません。我が国の発信事業は研究活動の水準にくらべてあまりに脆弱かつ劣悪でした。自前の国際的・第一級の学術誌を育成してこなかった学協会の非力と認識の欠如こそが反省されるべきです。自然科学分野における日本人の英文論文数は12%の世界シェアを誇りますが、実に80%が海外流出といわれます。我が国は成果の創出だけでなく、発信においても主役を務めるべきです。多大の国費を投入して得た研究成果が一方的に諸外国の学協会や出版社だけを利する現状は甚だ残念であり、また健全とはいいかねます。さらに情報セキュリティについても懸念が残ります。我が国に着実に知的資産を定着、蓄積させねばなりません。国際水準の情報発信基盤の整備はやや遅きに失した感があり、もはやスローガンに止まってはなりません。責任者は覚悟をもって早期の実現を約束すべきです。

我が国がイニシアティブをとる新たなシステムは、情報の発信者の要望に応え、かつ受信者にも十分な満足を与えるものでなくてはなりません。目標実現には本事業、学協会そして研究者たちの総合的な一体作業が必要であり、関係者の使命感と意欲を喚起することが何よりも大切です。さらに将来の発信先は、国際にとどまらず、学際、社会際が重要であることをつけ加えておきたいと思います。本事業の発展には電子ジャーナル等の技術的問題にとどまらず、すぐれた経営戦略、国際的市場調査を踏まえた販路拡大が不可欠であり、最も適切な人材の登用が必要となります。魅力と力量あるオール・ジャパンの事業展開にむけて、国の強力な支援に加えて関係者の奮迅の努力を期待しています。



名古屋大学  
物質科学国際研究センター長  
野依 良治

## SPARC/JAPAN とは

SPARC/JAPAN(国際学術情報流通基盤整備事業)は、日本の学協会等が刊行する学術雑誌の電子ジャーナルを強化することによって、海外に流出するわが国の優れた研究成果をわが国の研究者自身の手に取り戻し、海外への研究成果発信の一層の普及を推進する事業です。

### 学術雑誌をとりまく世界の流れ

科学技術・学術の推進のためには、研究成果が学術論文によって迅速に流通し、研究者・学生が最新の研究成果を常に利用できることが重要です。また、これらの学術論文の刊行状況は、それぞれの国、それぞれの分野における研究活動を集団、個人について評価するための重要な指標です。

北米、ヨーロッパなどにおいては、大学図書館団体が呼びかけて、研究者による学術雑誌刊行の電子化の支援を通して、価格高騰の問題を解決する競争的市場を創出する取り組みが展開され、科学技術・学術情報の一層の効果的な流通を図る試みが結実しつつあります。その顕著な例は、米国におけるSPARC(Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition)活動、ヨーロッパにおけるSPARC Europe活動です。

### SPARC/JAPANの目的

我が国では、国内に国際的に流通する英文論文誌が少ない、近年急速に発達した電子ジャーナル化に対応しきれない、学術雑誌を発行する学協会の運営体制や経営体制が十分でないなどの学術雑誌流通を取り巻く数々の問題があります。

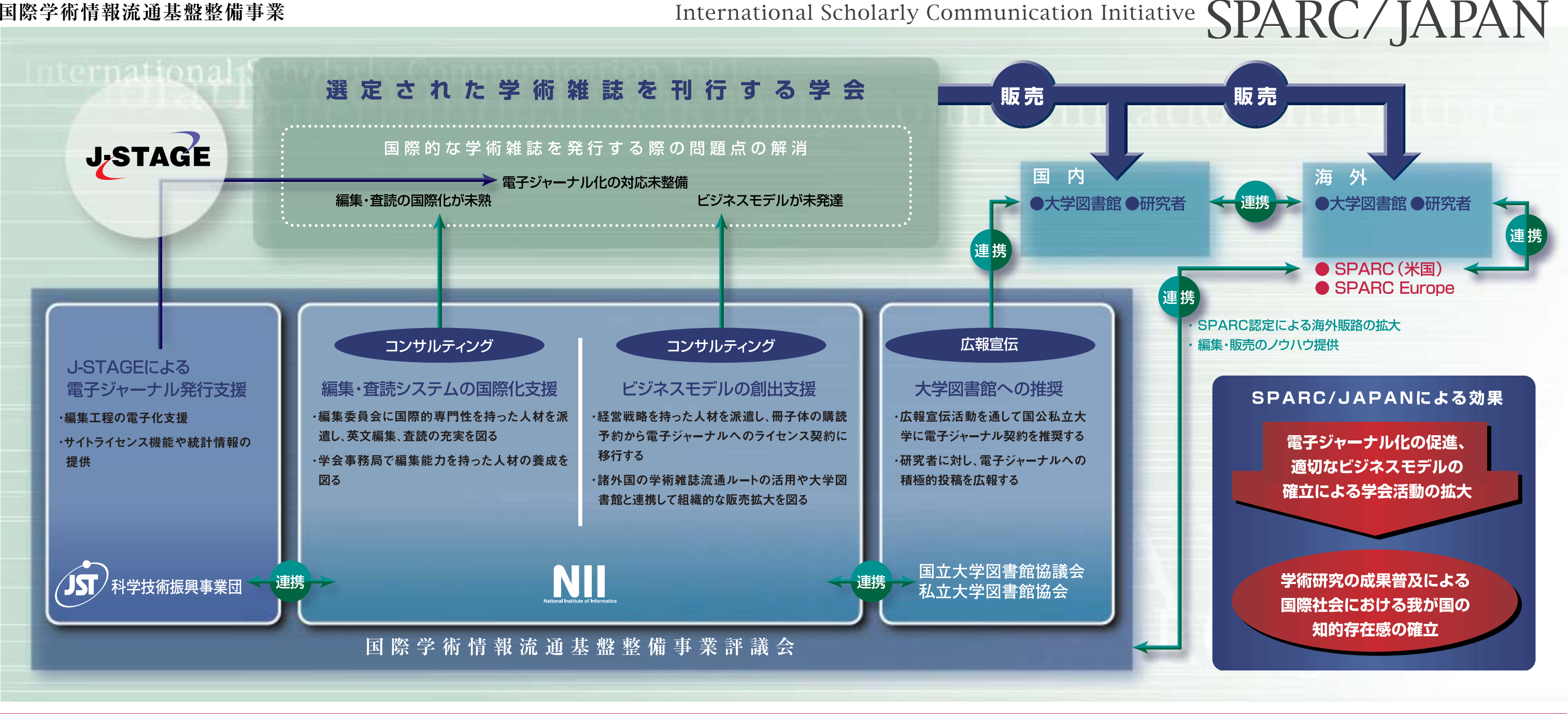
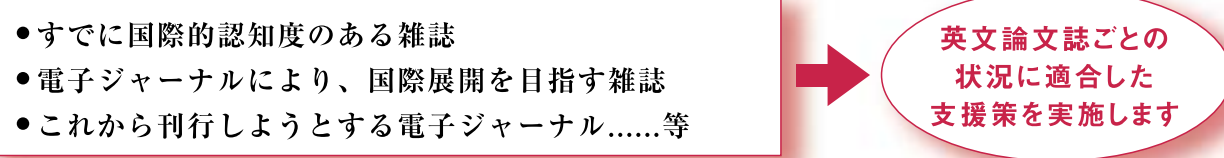
本事業では、日本の学協会ないしは学協会グループによる電子的な英文論文誌の発行活動に対して多面的な支援を行います。これにより、日本の電子ジャーナルが国際的に一層高く評価され、学協会ないしは学協会グループの電子的出版活動が促進されることを目的とします。

### SPARC/JAPANの活動

- 1.編集工程の電子化支援** 編集工程の電子化等の支援を、科学技術振興事業団のJ-STAGEの編集・査読システムを活用して行う。
- 2.英文論文誌の国際化支援** 英文論文誌を国際誌として強化するために、学協会等に国際的専門性を持った人材を派遣し、英文編集、査読の充実を図りつつ、英文論文誌の編集能力を持つ人材の育成に努める。また、英文校正作業等の支援を必要に応じて行う。
- 3.ビジネスモデル創出事業** 英文論文誌刊行における財政的基盤の確保のために必要なビジネスモデルの創出支援を大学図書館と連携して行う。J-STAGEの新機能(平成16年1月から運用開始予定のサイトライセンス機能や統計機能)や自機関サーバを利用した国内大学図書館や海外大学図書館への頒布について、その事業モデルの企画等を支援する。たとえば、国内外の機関購読の拡充のために、大学図書館へ販売する電子ジャーナルの価格設定や価格交渉のノウハウに関するコンサルティング、電子ジャーナルのサイトライセンスの設定や契約についてのアドバイスを行い、電子ジャーナルの販売ルートに向けた整備を支援する。
- 4.国際連携の推進** 英文論文誌の海外での認知度を向上させるための支援を行う。海外の電子ジャーナルサイトとの連携、相互リンク、海外頒布などについてコンサルティングを行う。
- 5.調査・啓発事業** また、米国SPARCの支援するサイト等へのライセンシングをSPARC/JAPANとして組織的に進める。大学図書館を中心に、我が国の学術コミュニケーションの動向調査と学内研究者や学協会等に対するSPARC/JAPANの広報宣伝活動を行う。また、学協会等の中で電子ジャーナルビジネスに関する情報の共有を図る。

## 学協会等とのパートナーシップ

本事業の推進に当たっては、本事業の趣旨に賛同し、刊行する英文論文誌の電子化・オンライン化や国際的な競争力の一層の向上について意欲を持つ学協会等とのパートナーシップが不可欠です。学協会等と国立情報学研究所とがパートナーとなり、選定された英文論文誌ごとに作業グループを組織し、科学技術振興事業団等と連携しながら、それぞれの学協会等に適合した英文論文誌の電子化、国際化やビジネスモデルの創出推進事業を実施します。



## 活動内容

作業グループは支援策を具体的に実施するための企画と活動を行います。

### 作業グループの主な活動

- 英文論文誌の編集・査読・発行の国際化やビジネスモデル創出のために必要となる実務専門家やコーディネータ等によるコンサルティングを、学協会等と協議して実施します。
- 英文論文誌の流通形態を冊子体契約モデルから電子ジャーナルのコンソーシアム契約モデルなどに移行するために、国内外の大学図書館等との連携による購入計画を、平成16年1月からの開始を目指して立案します。
- J-STAGEを始めとする電子ジャーナルサイトを利用する上での効果的発信方法やサイトライセンス方法などを検討し、学協会等に提案します。

## SPARC/JAPAN 推進体制

